

教員研究業績紹介

●学 長

☆東 隆 眞 [分野] 日本仏教学(曹洞宗学)

[業績] (著)乾坤院本 伝光録<1970> (著)現代語訳 伝光録<1991> (著)太祖瑩山禪師<1996>

[学会] 日本印度学仏教学会・日本仏教学会

●日本文化学科教員

☆秋 山 虔 [分野] 日本文学(中古の物語・日記文学)

[業績] (著)王朝の文学空間<1984> (著)伊勢<1994> (論)日記と日記文学<1997>

[学会] 中古文学会・日本文学協会・和歌文学会

☆栗 田 勇 [分野] 日本文化思想

[業績] (著)一遍上人一旅の思考者<1977> (著)栗田勇著作集・全12巻<1986> (著)最澄と天台本覚思想—日本精神史序説—<1994>

[学会] 日本フランス語フランス文学会・日仏哲学会・美学会

☆小 松 英 雄 [分野] 日本語学(日本語史)

[業績] (著)日本声調史論考<1971> (著)やまとうた<1994> (著)仮名文の構文原理<1997>

[学会] 国語学会・訓点語学会・Linguistic Society of America

☆高 木 庸 一 [分野] 健康科学(医療史)

[業績] (著)保育科学生に対するTHI(東大式健康指数)の試み<1993> (著)保育科学生のライフスタイルの変化 彼女らの健康への意識と行動<1995> (著)女子大生の健康への意識と行動—その1—<1995>

[学会] 日本小児科学会・日本医史学会・日本学校保健学会

☆西 沢 正 史 [分野] 日本文学(中古・中世の物語・日記文学)

[業績] (著)『増鏡』研究序説<1982> (著)中世小説の世界<1982> (著)女流日記文学講座<1990>共編

[学会] 中古文学会・中世文学会・日本文学協会

☆長谷川 誠 [分野] 日本美術史(仏教美術)

[業績] (著)奈良六大寺大観<1968~73>共著 (著)薬師寺・金堂三尊と聖観音<1974> (著)興正菩薩御教誡 聴聞集・金剛仏子観尊感身学正記<1994>

[学会] 美術史学会

☆星 野 和 子 [分野] 日本語学・日本語教育

[業績] (著)『現代語における「も」の用法』<1986> (著)『擬音語・擬態語使い方辞典』<1993>共著 (訳)『源氏物語CD-ROM』<1996>共訳

[学会] 国語学会・語量国語学会・日本語教育学会

☆米 田 利 昭 [分野] 日本文学(近現代文学)

[業績] (著)わたしの漱石<1990> (著)宮沢賢治の手紙<1995> (論)漱石と子規の思想—気節論争の頃—<1993>

[学会] 日本文学協会・東大国語国文学会・社会文学会

☆亘 純 吉 [分野] 文化人類学(東南アジア地域を中心とする物質文化・民族技術の研究)

[業績] (著)民族の文化から<1989> (論)Costume Culture among Mindoro Highlanders; A Case Study of the Hanunoo-Mangyan<1985> (論)ハヌノオ・マンヤン族の服装観—フィリピン、ミンドロ島山地民の

事例から—(1995)

〔学会〕日本民族学会・日本生活学会・国際開発学会

☆安 藤 嘉 則 〔分野〕印度学仏教学(中世曹洞禅、インド仏教とジャイナ教)

〔業績〕(著)仏教入門(1987)共著 (著)ジャータカ全集 9 (1991)共訳 (著)道元思想のあゆみ 3 江戸時代 (1993)共著

〔学会〕日本印度学仏教学会・日本仏教学会・日本宗教学会

☆倉 本 一 宏 〔分野〕日本史学(日本古代政治史)

〔業績〕(著)撰関時代と古記録(1991)共著 (著)日本律令制論集 上巻(1993)共著 (著)日本古代国家成立期の政権構造(1997)

〔学会〕史学会・日本史研究会・木簡学会

☆芝 山 正 治 〔分野〕運動生理学、潜水生理学、産業保健学

〔業績〕(論)8ATA空気環境におけるAirおよびTrimix吸入ガスに伴う作業効率(1990) (論)SCUBA潜水に伴う耳管調圧機能(1991) (論)Nitrox dive by Seme-Closed circuit at shallow water in Japan (1995)

〔学会〕日本体力医学会・日本高気圧環境医学会・日本産業衛生学会

☆鈴 木 省 訓 〔分野〕日本仏教学(近世臨済禅)

〔業績〕(論)古月禅材伝の研究(1997) (論)月船禅慧の研究(1997) (論)天台思想と東アジア文化の研究「碧前碧後考」(1995)

〔学会〕印度学仏教学会・日本宗教学会・日本仏教学会

☆小 川 誠 〔分野〕中国古代考古学

〔業績〕(論)中国古代国家成立のメカニズム(1991) (論)殷文化成立試論(1992) (論)山東竜山文化の素面鬲(1997)

〔学会〕日本中国考古学会・東南アジア考古学会

☆佐々木 俊 道 〔分野〕日本仏教(中古日本天台本覚法門)

〔業績〕(著)日本仏教人名辞典(1992)共著 (論)『天台伝南岳必要』について(1993) (著)仏教における聖と俗(1994)共著

〔学会〕日本仏教学会・日本印度学仏教学会・駒沢大学宗教学研究會

☆林 もも子 〔分野〕臨床心理学

〔業績〕(論)探学的研究方法：多数事例報告データによる仮説探学(1988) (論)エンカウンター・グループの発展段階尺度の作成(1989) (論)エンカウンター・グループの発展段階尺度の特徴 心理臨床学研究(1995)

〔学会〕日本心理臨床学会・日本心理学会・日本集団精神療法学会

●国際文化学科教員

☆宇佐美 昇 三 〔分野〕視聴覚教育

〔業績〕(著)コミュニケーション・メディアとしての教育機器(1992) (論)日本における映像教育の進展(1993) (論)The Making of Interactive Multimedia Program "The Secret of Aunt Mariko"(1994)

〔学会〕日本視聴覚 放送教育学会・日本マスコミュニケーション学会・日本映像学会

☆神 山 順 一 〔分野〕教育学

〔業績〕(著)生涯学習(1974)共著 (著)マスコミと教育のあいだ(1984) (著)教育原理(1985)共著

〔学会〕日本教育学会・日本社会教育学会・日本保育学会

- ☆川 竹 和 夫 〔分野〕国際コミュニケーション
 〔業績〕(著)ニッポンのイメージ~マスメディアの効果~(1988) (著)異文化のなかのニッポン(1991)
 (著)メディアの伝える外国イメージ(1996)
 〔学会〕日本マス・コミュニケーション学会・情報通信学会・IIC (International Institute of Communications)
- ☆戸 田 洋 樹 〔分野〕哲学(ドイツ近・現代哲学)
 〔業績〕(著)ヨーロッパ近世哲学の展開(1981) (著)哲学の諸問題(1988) (著)西洋哲学史(1997)共著
 〔学会〕日本哲学会・日本倫理学会・哲学会
- ☆棚 木 泰 〔分野〕フランス文学・翻訳論
 〔業績〕(論)ユベール・モンティエ論(1990) (論)翻訳論—社会学的アプローチの試み(1992) (論)ヴォルテール思想における自然と神性について(1996)
 〔学会〕日本フランス語フランス文学会・日本時事英語学会
- ☆長谷川 雄 一 〔分野〕国際関係(近・現代のアジア太平洋国際関係論)
 〔業績〕(著)日本の1930年代—国の内と外から—(1981)共著 (著)日本外交と対外紛争(1984)共編 (著)日米危機の起源と排日移民法(1997)共著
 〔学会〕日本国際政治学会・アジア政経学会・日本政治学会
- ☆平 嶋 秀 治 〔分野〕偏微分方程式の数値解法・力学系の研究
 〔業績〕(著)数学と日本語(正・続)(1981,86)共著 (著)応用解析学 I II(1965,69)共著 (論)Computer Graphic Display-Aided Instructions of Liner Algebra and Differential Equations(1984)
 〔学会〕日本数学会・応用物理学会
- ☆藤 田 啓 子 〔分野〕美術史・芸術学
 〔業績〕(著)18世紀イギリス絵画(1984) (論)人物画の流れ~東洋と西洋の比較より~(1992) (論)D.G.ロセッティにおける『神曲』『地獄篇』第5歌の絵画表現(1994)
 〔学会〕美術史学会・美学会・日本建築学会
- ☆三 輪 晴 啓 〔分野〕ドイツ現代政治・ドイツ語・マスコミ論
 〔業績〕(著)統一ドイツの軌跡(1995) (著)メディアの伝える外国イメージ(1996) (論)検証・ドイツ統一(1994)
 〔学会〕日本マスコミュニケーション学会・日本EU会・独文学会
- ☆渡 辺 修 〔分野〕国際関係論・ヨーロッパ文化論
 〔業績〕(著)オルテガ(1996) (著)肥大化するグローバル・メディア(1996) (論)“冷戦後”新世界秩序の構造(1994)
 〔学会〕日本国際政治学会・日本EU(EC)学会・日本マスコミュニケーション学会
- ☆井 戸 桂 子 〔分野〕比較文学(19世紀アメリカ文学・フランス文学と日本)
 〔業績〕(著)異文化を生きた人々(1993)共著 (著)テクストの発見(1994)共著 (論)Les Expressions de la perversité chez Baudelaire(1986)
 〔学会〕日本比較文学会・日本フランス語フランス学会・日本英文学会
- ☆緒 方 孝 文 〔分野〕イギリス文学(近代小説)
 〔業績〕(著)愛と結婚—イギリス小説の場合(1989)共著 (著)フェイバリット英和辞典(1996)共著 (著)イギリス文学ガイド(1997)共著
 〔学会〕日本英文学会・日本ブロンテ協会・渦の会

- ☆糟谷 惠次 〔分野〕ドイツ文学(18世紀末の抒情詩)
 〔業績〕(論)若きノヴァーリスにおける《Sittliche Grazie》<1991> (論)アイヒェンドルフのビュルガー批評<1993> (論)G.A.ビュルガーの民衆詩論<1993>
 〔学会〕日本独文学会・ドイツ語教育部会・日本アイヒェンドルフ協会
- ☆加藤 ナツ子 〔分野〕スペイン語学(生成文法理論によるスペイン語研究)
 〔業績〕(論)La asignación de persona y número en español<1981> (論)スペイン語動詞の文脈特性—saberとconocerの補部の選択<1990> (論)Local Licensing of N-Words in Spanish<1997>
 〔学会〕日本イスパニア学会・日本言語学会・日本英語学会
- ☆黒田 美代子 〔分野〕イスラーム文化・社会論
 〔業績〕(著)商人たちの共和国<1995> (著)イスラーム世界における女性の位置<1990>共著 (論)イスラーム共同体と共存の原理<1988>
 〔学会〕日本国際政治学会・日本中東学会・BRISMES (British Society for Middle Eastern Studies)
- ☆J. B. Jones 〔分野〕American Language and Culture
 〔業績〕(著)Look and Listen<1992> (著)Japan Watching<1993> (著)Oral Communication A<1997>
- ☆砂岡 和子 〔分野〕近世中国語史・現代中国語法
 〔業績〕(著)難経解説<1987>共著 (著)続 中国はてな物語<1991>共著 (著)プログレッシブ中国語辞典<1997>共著
 〔学会〕日本中国学会・日本中国語学会・世界漢語学会
- ☆羽島 修 〔分野〕アメリカ史(現代アメリカ社会・文化史)
 〔業績〕(著)アメリカ西部史<1986>共著 (著)女性労働運動にみる階級と性—NWTULの活動より<1989> (著)「自発的」アメリカナイズーションのディレンマ—1928年民主党大統領候補アル・スミスを事例として<1997>
 〔学会〕アメリカ学会
- ☆光田 督良 〔分野〕憲法学
 〔業績〕(著)法と社会生活<1995>共著 (論)自己の血縁を知る子の権利の時間的制約の合憲性<1996> (論)具体的規範統制におけるEntscheidungserheblichkeitの意義と問題性<1997>
 〔学会〕日本公法学会・全国憲法研究会・憲法裁判研究会
- ☆白井 実穂子 〔分野〕国際政治学
 〔業績〕(著)EU政策と理念<1995>共著 (著)冷戦後のアジアの安全保障<1997>共著 (論)IEPG 欧州兵器協力の軌跡<1995>
 〔学会〕日本国際政治学会・日本政治学会・日本EU学会
- ☆大田 美和 〔分野〕イギリス小説
 〔業績〕(著)なぜ『日陰者ジュード』を読むか<1997>共著 (著)ブロンテ姉妹の時空<1997>共著 (論)『ワイルドフェル・ホールに住人』におけるセクシュアリティと結婚制度<1997>
 〔学会〕日本英文学会・日本ブロンテ協会・新英米文学研究会
- ☆末木 俊之 〔分野〕応用化学(有機合成化学)・情報工学
 〔業績〕(論)スルホンアミドの光分解を応用したスチレンスルフィン酸の新合成法<1982> (論)エチレン高分子鎖上のスルホンアミドの光分解<1983>
 〔学会〕情報工学管理学会

☆鈴木 正彦 〔分野〕英国ルネッサンスにおける思想と文学・英国文化

〔業績〕(著)Poety and Faith in the English Renaissance<1987>共著 (著)『フェイバリット英和辞典』
<1996>共著 (論)A Hero who Becomes a Villain<1988>

〔学会〕日本シェイクスピア協会・英米文化学会・ルネッサンス研究所

☆富士原 光 洋 〔分野〕認知科学・情報処理教育

〔業績〕(論)仮名文字と数字の処理過程の違い<1989> (論)単語音読課題による間接的プライミング効果
の検討<1990> (論)コンピュータ言語学習における事例先行学習と原理先行学習との比較<1991>

〔学会〕日本心理学会・日本基礎心理学会・情報処理学会

☆A. W. Young 〔分野〕Dark and Medieval History・Education

〔業績〕(著)The Syrian Research Journey<1996> (著)A Pedagogical Study of CALL: Observations,
Applications and Corollaries; With a Reading Focus<1994> (著)Catching Sight of Things Japanese
Conversational Approach<1994>共著